

# 教育に関する事務の点検・評価報告書

(令和6年度事業)

令和7年7月

大仙市教育委員会

## 目 次

1	点検・評価の趣旨	1
2	点検評価の実施方法	1
3	教育委員会の活動に関する事務	2
(1)	教育委員会の会議の開催状況	2
(2)	教育長・委員の活動状況	4
(3)	教育長・委員の研修状況	4
4	総合教育会議の開催状況	5
5	点検・評価の対象事業	6

No.	分 野	事務・事業名	担当課等	ページ
1	学校教育	奨学金返還助成事業	教育総務課	6
2	学校教育	グローバルジュニア育成事業	教育指導課	7
3	学校教育	心の教室相談員活用事業	教育指導課	9
4	学校教育	学校施設改修事業	施設管理課	11
5	生涯学習	学校・家庭・地域連携推進事業	生涯学習課	13
6	生涯学習	姫神公園探検学習	花館公民館	15
7	芸術文化	かみおか地域文化祭	神岡中央公民館	16
8	芸術文化	大綱米プロジェクト	大綱交流館	18
9	生涯学習	ドンパル講座	中仙公民館	20
10	芸術文化	芸術文化振興事業 「ちいきみんなのきょうわ祭」	協和公民館	21
11	生涯学習	南外地域健康教室	南外公民館	23
12	芸術文化	史跡の里の秋まつり	仙北公民館	24
13	芸術文化	第26回民謡「秋田おはら節」全国大会	太田公民館	26
14	生涯学習	ブックスタート	総合図書館	28
15	芸術文化	大仙市音楽祭2024	総合市民会館	30

6	学識経験者の総評	32
---	----------	----

## 1 点検・評価の趣旨

大仙市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、教育委員会が行う教育事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとしました。

## 2 点検・評価の実施方法

### (1) 点検・評価の対象とする事務

点検・評価の対象とする事務は、令和6年度の教育委員会の活動に関する事務のほか、大仙市総合計画、新しい時代の学校教育だいせんビジョン、大仙市生涯学習推進計画に基づく同年度に実施した事業のうち、15事業を選定し、点検・評価を行いました。

### (2) 点検・評価の方法

点検・評価は、事務事業の点検・評価表により、担当課による自己評価を実施するとともに、有識者からの外部評価をいただきました。

### (3) 外部評価していただいた有識者

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、学識経験者 中村 隆一 氏、相澤 文彦 氏の2氏から評価していただきました。

### (4) 外部評価後の検証・実施

外部評価を踏まえ、事務事業を再検証し、できる限り今後の施策に反映していきます。

---

## 【参考】

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 3 教育委員会の活動に関する事務

#### (1) 教育委員会の会議の開催状況

教育委員会の会議は、毎月1回開催する定例会と必要に応じて開催する臨時会があります。  
令和6年度は、定例会のほか臨時会を2回開催し、合計14回開催しました。

開催期日 及び場所	議 案
定 R6.4.24 大曲庁舎	議案第17号 令和5年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第16号）案に関する臨時代理について 議案第18号 奨学資金運営審議会委員の委嘱に関する臨時代理について 議案第19号 公民館運営協力委員の委嘱に関する臨時代理について 議案第20号 大仙市地域学校協働活動統括推進員及び推進員の委嘱に関する臨時代理について
定 R6.5.24 大曲庁舎	議案第21号 財産の取得に関する臨時代理について 議案第22号 令和6年度大仙市一般会計補正予算（第2号）案に関する臨時代理について 議案第23号 教育支援専門検査員の委嘱について 議案第24号 給食センター運営委員会委員の任命又は委嘱について
定 R6.6.21 大曲庁舎	議案なし（報告案件のみ）
定 R6.7.24 大曲庁舎	議案第25号 教育に関する事務の点検・評価報告書案について 議案第26号 大仙市教育支援委員会委員の委嘱について 議案第27号 大仙市立中学校用教科用図書の採択について
定 R6.8.21 大曲庁舎	議案第28号 令和6年度大仙市一般会計補正予算（第6号）案に関する臨時代理について
定 R6.9.25 圏外コミュニティセンター	議案第29号 令和6年度大仙市一般会計補正予算（第7号）案に関する臨時代理について 議案第30号 財産の取得（追認）に関する臨時代理について ※ 移動教育委員会として開催
定 R6.10.25 大曲庁舎	議案なし（報告案件のみ）
定 R6.11.27 大曲庁舎	議案第31号 大仙市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理について 議案第32号 令和6年度大仙市一般会計補正予算（第9号）案に関する臨時代理について 議案第33号 令和6年度大仙市一般会計補正予算（第11号）案に関する臨時代理について
臨 R6.11.27 大曲庁舎	議案第34号 大仙市教育委員会職員の分限処分について

定 R6.12.20 大曲庁舎	議案なし（報告案件のみ）
--------------------	--------------

令和 7 年

定 R7.1.22 大曲庁舎	議案第 1 号 令和 6 年度大仙市一般会計補正予算（第 12 号）案に関する臨時代理について
定 R7.2.19 大曲庁舎	<p>議案第 2 号 大仙市花の里づくり基金条例を廃止する条例案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 3 号 令和 6 年度大仙市一般会計補正予算（第 13 号）案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 4 号 令和 6 年度大仙市一般会計補正予算（第 14 号）案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 5 号 令和 6 年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第 2 号）案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 6 号 令和 6 年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第 1 号）案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 7 号 令和 7 年度大仙市一般会計予算案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 8 号 令和 7 年度大仙市学校給食事業特別会計予算案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 9 号 令和 7 年度大仙市奨学資金特別会計予算案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 10 号 大仙市学校給食センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について</p>
臨 R7.2.19 大曲庁舎	議案第 11 号 県費負担教職員の人事の内申について
定 R7.3.26 大曲庁舎	<p>議案第 12 号 大仙市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議案第 13 号 大仙市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議案第 14 号 大仙市立小中学校における修学旅行実施基準の制定について</p> <p>議案第 15 号 大仙市地域学校協働活動推進員設置要綱の一部を改正する訓令の制定について</p> <p>議案第 16 号 教育アドバイザーの任命について</p> <p>議案第 17 号 教育アドバイザーの任命について</p> <p>議案第 18 号 部活動地域移行コーディネーターの任命について</p> <p>議案第 19 号 部活動地域移行コーディネーターの任命について</p>

※ 議案番号は暦年による一連番号

(2) 教育長・委員の活動状況

【入学式】

日 程 令和6年4月5日～10日  
場 所 小学校20校、中学校10校 全30校  
出席者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長

【学校訪問】

日 程 令和6年6月26日～11月13日 全30日程  
場 所 小学校20校、中学校10校 全30校  
訪問者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長、指導主事

【公民館等訪問】

日 程 令和6年4月15日、16日、30日  
場 所 市内各公民館等  
訪問者 教育長、事務局長、課・館長、地域学校協働活動統括推進員

【卒業式】

日 程 令和7年3月8日～15日  
場 所 小学校20校、中学校10校 全30校  
出席者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長

(3) 教育長・委員の研修状況

【東北都市教育長協議会定期総会・研修会】

時 期 令和6年4月18日、19日  
場 所 宮城県大崎市  
出席者 教育長

【全国都市教育長協議会定期総会・研究大会】

時 期 令和6年5月9日～10日  
場 所 長崎県長崎市  
出席者 教育長

【令和6年度第1回県南地区教育長会議】

時 期 令和6年5月23日  
場 所 松興会館  
出席者 教育長、事務局長

【秋田県市町村教育委員会連合会定期総会】

時 期 令和6年8月26日  
場 所 秋田市役所  
出席者 教育長

【全県市町村教育委員会教育長会議】

時 期 令和6年9月5日  
場 所 秋田県庁 第二庁舎  
出席者 小笠原委員

【令和6年度大仙市教育委員会委員研修視察】

時 期 令和6年9月25日  
場 所 大仙市南外民俗資料交流館  
出席者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長

【令和6年度第2回県南地区教育長会議】

時 期 令和6年11月6日  
場 所 よこてシャイニーパレス  
出席者 教育長、事務局長

【秋田県都市教育長協議会教育長・関係課長会議】

時 期 令和6年11月20日  
場 所 よこてシャイニーパレス  
出席者 教育長、教育指導課長

【秋田県市町村教育委員会連合会及び秋田県都市教育長協議会合同研修会】

時 期 令和6年11月26日  
場 所 秋田市役所  
出席者 教育長

#### 4 総合教育会議の開催状況

総合教育会議とは、平成27年4月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」に基づき、市長と教育委員会を構成員として設置されるもので、市長と教育委員会が教育の課題やあるべき姿を共有し、相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としています。

令和7年2月5日、大仙市役所大曲庁舎において令和6年度第1回大仙市総合教育会議を開催しました。この会議では、学校と地域が連携・協働した教育環境の充実について協議を行っています。

【令和6年度第1回大仙市総合教育会議】

日 時 令和7年2月5日（水） 午後3時  
場 所 大仙市役所大曲庁舎 3階 大会議室  
協議事項 (1) 学校と地域が連携・協働した教育環境の充実について

## 事務事業の点検・評価表

	番号	1	分野	学校教育	担当課	教育総務課												
<b>事業名</b>	奨学金返還助成事業																	
<b>事業の目的</b>	この事業は、高校又は大学等を卒業後、大仙市に移住・定住する若者を確保することを目的とする。																	
<b>事業の実施状況</b>	事業費		4, 475千円															
	<p>令和2年度の受付開始以降、令和5年度までに計95人の返還助成対象者を認定し、計6,536千円を助成した。令和6年度は、新たに17名を認定、計4,475千円を助成した。</p> <p style="text-align: center;">(これまでの認定者数と助成額)</p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">R4</th> <th style="text-align: center;">R5</th> <th style="text-align: center;">R6</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">認定者数(人)</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">助成額(千円)</td> <td style="text-align: center;">2,359</td> <td style="text-align: center;">2,982</td> <td style="text-align: center;">4,475</td> </tr> </table>						区分	R4	R5	R6	認定者数(人)	16	32	17	助成額(千円)	2,359	2,982	4,475
区分	R4	R5	R6															
認定者数(人)	16	32	17															
助成額(千円)	2,359	2,982	4,475															
<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/> 順調に達成した  <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった         </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した  <input type="checkbox"/> 達成できなかった         </div> </div> <p>秋田県が実施する奨学金返還助成制度と併用が可能であり、経済的支援の面で相乗効果があるため、移住・定住を検討する若者にとって負担軽減につながる魅力的な事業である。年間を通して事業に関する問い合わせがあることから、移住・定住促進に一定の効果があるものと思われる。</p>																	
<b>課題等</b>	<p>進学や就職を機に市外へ転出する若年層や、移住を検討する層などのため、ホームページや広報、SNSなどを活用して、制度について幅広く継続的な周知が必要である。あわせて、想定される対象層に向けた効果的な情報発信のあり方も、今後の課題として考えられる。</p>																	
<b>外部評価 有識者の 意見・評価</b>	<p>●本事業は、奨学金の返済にあたって一定の条件付きではありますが助成を受けられるという、奨学金を借りている学生にとって有利な制度であり、継続して事業を実施していただきたいと思います。</p> <p>今後は、事業を拡大して助成条件の緩和や、返済不要の奨学金への移行も含めてご検討くださるようお願いいたします。</p> <p>◆5年間、返還金の三分の一の助成を受けられるほか、県の制度との併用が可能であることは、経済的支援を必要とする若者にとっては無論、幅広く移住・定住を選択してもらえるだけの魅力のある事業であると思います。事業開始の令和2年度より年平均20名以上の実績もあるので、今後も効果的な情報発信により制度を広く周知していただき、若者の移住・定住が促進されることを願っています。</p>																	



## 事務事業の点検・評価表

	番号	2	分野	学校教育	担当課	教育指導課																																										
事業名	グローバルジュニア育成事業																																															
事業の目的	<p>国際化の進展に伴い重要視される国際理解教育及び外国語教育の充実のため、外国語指導助手（ALT）・国際交流員（CIR）等を配置し、児童・生徒の国際感覚、コミュニケーション能力の向上を図る。また、グローバル人材の育成をふまえ、市内の小・中学生を対象とした大仙イングリッシュ・デーの開催や、web会議システム等を活用した海外の方とのオンライン交流等、児童生徒の体験活動の充実を図る。</p>																																															
事業の実施状況	事業費	55,143千円																																														
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>①外国語指導助手等招致事業 ALT・CIRを配置し、中学校外国語の学習指導及び小学校等における外国語活動等を実施。令和6年度末時点での配置人数は12人（CIR1名、ALT11名）となっている。ALTは輪番制で「ALTから見た大仙市」記事をホームページ上で更新しており、児童生徒のみならず市民にも、その活動を還元できる活動を行った。</p> <p>②グローバルジュニアマイスター育成事業 児童生徒が、海外や県外の方々と英語等を使ったコミュニケーションや情報交換、観光案内などの目的をもった交流活動を実施した場合に、内容に応じてポイントを付与し、グローバルジュニアマイスターに認定した。</p> <p>③大仙イングリッシュデー 大仙市内の小学生64名（中学生は大雨により中止）が参加し、ALT・CIRとともに英語による活動及び交流を実施した。希望児童生徒が応募枠を大きく超えたため、日程を変更し希望者全員を受け入れた。</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>【ALT・CIR配置人数】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> <tr> <td>ALT</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>CIR</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>【グローバルジュニア認定人数】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> <tr> <td>ブロンズ</td> <td>209</td> <td>84</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>シルバー</td> <td>42</td> <td>37</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>ゴールド</td> <td>22</td> <td>17</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>マイスター</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>【大仙グローバルジュニア育成事業 決算額】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> <tr> <td>53,661千円</td> <td>55,252千円</td> <td>55,143千円</td> </tr> </table> </div> </div>							R4	R5	R6	ALT	11	11	11	CIR	1	1	1	計	12	12	12		R4	R5	R6	ブロンズ	209	84	82	シルバー	42	37	48	ゴールド	22	17	22	マイスター	12	9	12	R4	R5	R6	53,661千円	55,252千円	55,143千円
	R4	R5	R6																																													
ALT	11	11	11																																													
CIR	1	1	1																																													
計	12	12	12																																													
	R4	R5	R6																																													
ブロンズ	209	84	82																																													
シルバー	42	37	48																																													
ゴールド	22	17	22																																													
マイスター	12	9	12																																													
R4	R5	R6																																														
53,661千円	55,252千円	55,143千円																																														
自己評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した</p> <p><input type="checkbox"/> 達成したが課題があった</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><input type="checkbox"/> おおむね達成した</p> <p><input type="checkbox"/> 達成できなかった</p> </div> </div> <p>令和6年度は4月末の時点でALT11人の配置が完了し、中学校外国語の学習指導に加え、小学校外国語/外国語活動の授業時数の半分以上で、ネイティブスピーカーとの授業を実施できる体制を整えることができた。児童生徒が活きた英語に触れる機会を提唱することができている。</p> <p>グローバルジュニアマイスター育成事業においては、外部（観光客・留学生等）とのポイント獲得が増えるとともに、校内でのALTの積極的な活用やインターナショナルデー・大仙イングリッシュデー等の機会における意欲的な取り組み等が見られた。</p>																																															
課題等	<p>ALT・CIRの配置や授業時数を考慮しながら、児童生徒がより活きた英語に触れる機会をより多く保障することで、外国語学習を通じてコミュニケーション能力の素地や基礎が一層養われていくようにしていかなければならない。また、グローバルジュニアマイスター育成事業においては、今後、これまで以上に積極的にポイントを与え、自己有用感を醸成することも児童生徒のために必要である。</p> <p>これらの課題を踏まえ、効率的・効果的なALT・CIR派遣の在り方の模索やオンラインシステム等の有効な活用、月1回行われる市教育委員会主催のALT研修の充実など、ALT・CIRの意見を取り入れながら、工夫・改善をしていく必要がある。</p>																																															

<p>外部評価 有識者の 意見・評価</p>	<p>●本事業は、外国語指導助手等招致事業、グローバルジュニアマイスター育成事業、大仙イングリッシュデーの３事業が「グローバルジュニア育成事業」という一つの評価対象事業となっておりますが、その事業費55,143千円の主なものはALT&amp;CIRの人件費と思われるので、今後は一つの事業ではなく、三つの事業それぞれに区別してはどうかと思います。過去の経緯もあって現在の形になっていることは十分承知しておりますが、常に見直しも考えながら事業を実施していただきたいと思います。</p> <p>また、ALT等につきましては、第二次大仙市学校規模適正化推進計画の進捗状況に伴って配置人数も変わると考えられますので、適正配置に向けてご努力いただきたいと思います。</p> <p>◆定期的に研修を積んでいる大仙市のALTやCIRとの学習は、児童生徒にとって貴重な時間であり、積極的なかわりが見られていました。国際理解教育及び外国語教育の充実のための３事業とも学校に浸透しており、満足度の高いものとなっています。引き続き課題等に挙げていることについて検討いただき、さらなる充実を図っていただければありがたいと思います。</p>
--------------------------------	---

## 事務事業の点検・評価表

	番号	3	分野	学校教育	担当課	教育指導課																										
<b>事業名</b>	心の教室相談員活用事業																															
<b>事業の目的</b>	<p>不登校やいじめをはじめとする児童生徒の問題行動等の対応に当たって、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者等をフレッシュカウンセラー又はフレッシュカウンセラーに準ずる者（以下フレッシュカウンセラー）、及び心の教室相談員（以下 スマイルサポーター）として配置し、学校における教育相談体制の充実を図る。</p>																															
<b>事業の実施状況</b>	事業費		5, 567千円																													
	<p>1 フレッシュカウンセラーによる児童生徒へのカウンセリング等 児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識や経験を有するスクールカウンセラーを配置し、学校における教育相談体制の充実を図っている。 いじめや不登校をはじめとする児童生徒の問題行動等の対応にも積極的に関わり、悩みや問題を抱えた児童生徒の気持ちを共感的に理解するとともに、諸問題を客観的に捉えて対応している。</p> <p>2 スマイルサポーターによる相談活動 児童生徒の身近な存在となり、児童生徒が日常生活における様々な悩み等を気軽に安心して話せる相談体制の充実を図っている。</p>																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">心の教室相談員人数(人)</th> <th rowspan="2">決算額(千円)</th> </tr> <tr> <th>フレッシュカウンセラー</th> <th>スマイルサポーター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4983</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5212</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5567</td> </tr> </tbody> </table>				心の教室相談員人数(人)		決算額(千円)	フレッシュカウンセラー	スマイルサポーター	R4	2	4	4983	R5	2	4	5212	R6	2	4	5567	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>心の教室相談員 児童生徒及び保護者相談件数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td style="text-align: center;">1391</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td style="text-align: center;">1994</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td style="text-align: center;">2110</td> </tr> </tbody> </table>				心の教室相談員 児童生徒及び保護者相談件数(人)	R4	1391	R5	1994	R6	2110
	心の教室相談員人数(人)		決算額(千円)																													
	フレッシュカウンセラー	スマイルサポーター																														
R4	2	4	4983																													
R5	2	4	5212																													
R6	2	4	5567																													
	心の教室相談員 児童生徒及び保護者相談件数(人)																															
R4	1391																															
R5	1994																															
R6	2110																															
<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した  <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった         </div> <div> <input type="checkbox"/> おおむね達成した  <input type="checkbox"/> 達成できなかった         </div> </div> <p>学校との連携により、不登校傾向にある児童生徒が改善するなどの具体的な成果も報告されている。そのため、年々、児童やその保護者とのカウンセリングが増えてきている。</p> <p>さらに、児童の人間関係づくりを支援するグループワークやPTA研修会での保護者への講演依頼があり、フレッシュカウンセラーの活用の幅が広がってきている。</p>																															
<b>課題等</b>	<p>常勤ではないためにタイムリーな相談活用ができないことがあること、職員との十分な情報交換・情報共有の時間が確保しにくいことが課題である。また、年度末にフレッシュカウンセラーの持ち時数が不足するという状況になることがあり、児童生徒への発達支持的支援を行うための支援体制を整えていくことが課題となっている。</p>																															

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>●児童生徒の不登校やいじめなどの問題行動等の対応にあたっては、より早く対応できることが望ましいことは周知のことと思います。課題等に挙げられておりますが、現在2名のカウンセラーと4名のサポーターで対応されているところを、増員又は常勤化することで、より対応を強化されることをご検討いただきたいと思います。相談件数も年々伸びておりますので、問題行動等が少しでも解決されるよう、今後ともご努力いただきたいと思います。</p> <p>◆相談件数が年々増加しているとおり、昨今の問題行動等はその原因が多種多様で複雑なものが多く、心の教室相談員の活用が必要となっています。したがって、児童生徒、学校職員及び家庭の支援をするための重要な事業としてとらえることができ、達成状況を評価するものです。需要増の傾向は今後もますます強くなるものと思いますので、支援体制整備として担当の持ち時間増や人員増が必要であり、そのための予算措置が大きな課題となるかと思います。子どもたちの健全な育成のためにも支援体制の強化をお願いします。</p>
-----------------------------------	--

番号	4	分野	学校教育	担当課	施設管理課
----	---	----	------	-----	-------

事業名	学校施設改修事業			
事業の目的	学校施設の改修・整備を図り、児童生徒がより快適に学べる環境を提供することを目的とする。			
事業の実施状況	事業費		５８，５３７千円	
	【主な改修工事】 １ 管理棟給水管改修工事（大曲小） ２ 管理棟テラス防水改修工事（大曲中） ３ 校舎屋上防水改修工事（神岡小） ４ 高圧受電設備改修工事（太田南小）			
	【学校施設改修事業費の推移】			
	年 度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
	決算額	４０８，８２９千円	２５７，４６１千円	４５９，９０９千円
	主な改修事業内容	中学校空調	小中学校トイレ	小中学校トイレ 小中学校高圧受電設備 小中学校空調設備
自己評価	<div><div><input type="checkbox"/> 順調に達成した</div><div><input type="checkbox"/> 達成したが課題があった</div></div> <div><div><input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した</div><div><input type="checkbox"/> 達成できなかった</div></div>			
	国交付金事業等の活用を図りながら計画的に進めてきたトイレ全面改修について、令和５年度をもって完了したこととあわせ、令和６年度中においては、市の学校再編に係る全庁的な検討が進められ、その将来像が検討段階であったため、事業実施実績が大幅に減少したが、必要な改修工事について、今後も計画的に実施していく必要がある。 令和７年度以降の整備方針としては、「第２次大仙市学校規模適正化推進計画(素案)」(令和７年３月策定)に基づき、大仙市東部（中仙・仙北・太田）地域においては、大規模な改修工事等は実施せず、部分的な改修などにより施設の維持保全を図ることとし大曲地域及び大仙市西部（神岡・西仙北・協和・南外）地域の各学校施設においては、必要な施設改修工事等について計画的に実施していくことで、快適で安全な教育環境の提供に努めていく。			
課題等	市内小中学校の校舎及び屋内運動場については、全体の７０％以上が建築後３０年以上経過しており、老朽化による不具合発生も頻発していることから、今後も多額な経費を要することが見込まれる。大仙市学校施設長寿命化計画に基づき、予防保全的改修を計画的に実施することで、改修費の抑制と予算の平準化を図る必要がある。			

<p>外部評価 有識者の 意見・評価</p>	<p>●令和6年度に市の学校再編に係る検討がなされたことから、学校施設改修には予算措置されにくい状況にあることは予測されるところです。さらには、市の財政状況が厳しいという理由で、予算要求してもなかなか予算措置されない現状にあることも理解しております。しかしながら、必要な施設改修は実施していかなければなりません。今現在も児童生徒は、学校に通っております。その子供たちに不便を強いることは極力避けなければいけないと思います。</p> <p>予算措置された事業を実施することは当然のことであり、それをもって評価に値することにはならないと思います。今後は、学校から要望のあった施設改修箇所数及び事業費と、実際に予算措置された事業個所数、事業費の内訳を評価表に記載していただけるとよいのではないのでしょうか。要望に対する予算措置状況が一目で分かり、現在の教育施設改修状況がどうなっているのか判断できると思います。</p> <p>児童生徒がより快適に学べるように、さらなるご努力をお願いしたいと思います。</p> <p>◆過去、勤務校において不具合が生じた際にはいつも即時対応いただき、通常の学校運営ができるよう配慮していただきました。今回も主な改修工事は4件ながら、老朽化の進む施設設備の多くの事案に対応するなどして、児童生徒の快適で安全安心な教育環境を提供できるよう努力いただいていると感じました。今後とも本事業に係る計画に基づき、山積する課題をていねいに解決してくださるようご努力をお願いします。</p>
--------------------------------	--

## 事務事業の点検・評価表

	番号	5	分野	生涯学習	担当課	生涯学習課																																																																																																																									
<b>事業名</b>	学校・家庭・地域連携推進事業																																																																																																																														
<b>事業の目的</b>	<p>時代の変化に伴い、学校と地域の課題が複雑化・多様化する中、「子どもたちの人間力の育成」と「地域住民が主体的に地域活動に参画する機会の創出」を包括的に推進するため、学校と地域がパートナーとして連携・協働し、地域の教育力を高める仕組みを構築する。</p>																																																																																																																														
<b>事業の実施状況</b>	事業費	1, 775千円																																																																																																																													
	<p>1) 地域学校協働活動の推進          市内の中学校区ごとに配置する本部事務局を各地域総合公民館及び中学校（大曲地域）に配置し、協働活動、放課後子ども教室、家庭教育支援の3メニューを総合的に実施している。  <b>【令和6年度実績】</b>          (1) 地域学校協働活動推進員：31名（うち統括推進員1名）を配置          (2) 活動支援体制の強化：生涯学習課内に地域学校連携推進担当として教員経験のある職員（会計年度任用職員）を配置          2) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の計画的導入による地域学校協働活動との一体的な推進</p> <p>◆コミュニティ・スクール(CS)導入設置スケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>中学校区</th> <th>対象学校</th> <th>地域学校協働本部事務局</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>太田 (モデル地区)</td> <td>太田東小・太田南小・太田北小・太田中</td> <td>太田公民館</td> <td>準備</td> <td style="background-color: #FFD700;">設置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>西仙北</td> <td>西仙北小・西仙北中・(西仙北高)</td> <td>大綱交流館</td> <td></td> <td>準備</td> <td style="background-color: #FFD700;">設置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>協和</td> <td>協和小・協和中</td> <td>協和公民館</td> <td></td> <td>準備</td> <td style="background-color: #FFD700;">設置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>平和</td> <td>神岡小・平和中</td> <td>神岡中央公民館</td> <td></td> <td></td> <td>準備</td> <td style="background-color: #FFD700;">設置</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>南外</td> <td>南外小・南外中</td> <td>南外公民館</td> <td></td> <td></td> <td>準備</td> <td style="background-color: #FFD700;">設置</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>中仙</td> <td>中仙小・清水小・豊成小・中仙中</td> <td>中仙公民館</td> <td></td> <td></td> <td>準備</td> <td>準備</td> <td style="background-color: #000080;">設置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>仙北</td> <td>高梨小・横堀小・仙北中</td> <td>仙北公民館</td> <td></td> <td></td> <td>準備</td> <td>準備</td> <td style="background-color: #000080;">設置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>大曲西</td> <td>大川西根小・内小友小・大曲西中</td> <td>大曲西中学校(委託)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>準備</td> <td>準備</td> <td style="background-color: #000080;">設置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>大曲南</td> <td>角間川小・藤木小・大曲南中</td> <td>大曲南中学校(委託)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>準備</td> <td>準備</td> <td style="background-color: #000080;">設置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>大曲</td> <td>大曲小・東大曲小・花館小・四ツ屋小・大曲中</td> <td>大曲中学校(委託)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>準備</td> <td>準備</td> <td style="background-color: #000080;">設置</td> </tr> </tbody> </table>							中学校区	対象学校	地域学校協働本部事務局	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	1	太田 (モデル地区)	太田東小・太田南小・太田北小・太田中	太田公民館	準備	設置						2	西仙北	西仙北小・西仙北中・(西仙北高)	大綱交流館		準備	設置					3	協和	協和小・協和中	協和公民館		準備	設置					4	平和	神岡小・平和中	神岡中央公民館			準備	設置				5	南外	南外小・南外中	南外公民館			準備	設置				6	中仙	中仙小・清水小・豊成小・中仙中	中仙公民館			準備	準備	設置			7	仙北	高梨小・横堀小・仙北中	仙北公民館			準備	準備	設置			8	大曲西	大川西根小・内小友小・大曲西中	大曲西中学校(委託)				準備	準備	設置		9	大曲南	角間川小・藤木小・大曲南中	大曲南中学校(委託)				準備	準備	設置		10	大曲	大曲小・東大曲小・花館小・四ツ屋小・大曲中	大曲中学校(委託)					準備	準備	設置
	中学校区	対象学校	地域学校協働本部事務局	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																																					
1	太田 (モデル地区)	太田東小・太田南小・太田北小・太田中	太田公民館	準備	設置																																																																																																																										
2	西仙北	西仙北小・西仙北中・(西仙北高)	大綱交流館		準備	設置																																																																																																																									
3	協和	協和小・協和中	協和公民館		準備	設置																																																																																																																									
4	平和	神岡小・平和中	神岡中央公民館			準備	設置																																																																																																																								
5	南外	南外小・南外中	南外公民館			準備	設置																																																																																																																								
6	中仙	中仙小・清水小・豊成小・中仙中	中仙公民館			準備	準備	設置																																																																																																																							
7	仙北	高梨小・横堀小・仙北中	仙北公民館			準備	準備	設置																																																																																																																							
8	大曲西	大川西根小・内小友小・大曲西中	大曲西中学校(委託)				準備	準備	設置																																																																																																																						
9	大曲南	角間川小・藤木小・大曲南中	大曲南中学校(委託)				準備	準備	設置																																																																																																																						
10	大曲	大曲小・東大曲小・花館小・四ツ屋小・大曲中	大曲中学校(委託)					準備	準備	設置																																																																																																																					
<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/> 順調に達成した  <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった         </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した  <input type="checkbox"/> 達成できなかった         </div> </div> <p>地域学校協働活動推進員を31名（うち統括推進員1名）配置、うち新任の委員（4名）も加わることで、活動の幅が広がり活発化にもつながっている。          また、活動支援体制の強化として生涯学習課内に地域学校連携推進担当職員を配置したことで、学校と地域の繋がりづくりの強化が図られたほか、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入により、地域学校協働活動との一体的な取組の推進につながっている。</p>																																																																																																																														
<b>課題等</b>	<p>協働活動本部10本部のうち、大曲地域を除く各地域では、その本部事務局を公民館が担っており、この組織体制は大仙市の特徴であり強みであると捉えている。今後、大曲地域へコミュニティ・スクールを導入するにあたり、地域学校協働活動との一体的取組の推進を見据え、各公民館を拠点としたつながりづくりのネットワーク化を強化する必要がある。          →【対応】R7年度より大曲地域の本部事務局を各中学校から各地区公民館へ移行          大曲西：内小友公民館、大曲南：角間川公民館、大曲：花館公民館</p>																																																																																																																														

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>●本事業につきましては、具体的にどのような事業を展開していくのか、わかりやすく説明が欲しかったと思います。学校運営協議会（コミュニティスクール）が中学校単位に設立されて、協働活動、放課後子ども教室、家庭教育支援などを実施するという説明ではありましたが、さらに突っ込んで、具体的にはどのような活動を実施するという中身の説明や、事業を実施して、このような成果がありましたという事を記載していただきたかったと思います。事業は今後も続くと思われますので、この点についてもご検討いただきたいと思います。</p> <p>◆私自身太田東小在職中のことですが、CS設置の準備段階で太田公民館が本部事務局を引き受けてくださったこと、地域人材の派遣等の相談に応じていただき、スムーズな教育活動ができたこと記憶しています。生涯学習課のリーダーシップのもと、事業推進の鍵となる適任者を配置し、計画的なCS導入設置により地域学校協働活動との一体的な取組推進につながっていることは大いに評価できます。今後も推進員や教員、公民館職員の異動等、人的な要因で衰退することが無いよう推進体制を維持強化し、素晴らしい事業目的のためにご努力いただくよう期待しています。</p>
-----------------------------------	---



## 事務事業の点検・評価表

番号	6	分野	生涯学習	担当課	花館公民館
----	---	----	------	-----	-------

事業名	姫神公園探検学習	
事業の目的	姫神公園から、自分たちが住んでいるまちの景観を眺めるとともに、先輩方がこれまで植樹してきた桜を鑑賞し、地域の歴史や豊かな自然について学ぶことを目的とする。	
事業の実施状況	事業費	30千円
	<p>日時：令和6年4月17日          会場：姫神公園          対象者：花館小学校3年生 68名          内容：①公園から自分たちが住む「花館について」の学習          ②秋田県森の案内人による公園内の植物観察</p> <p>※地域と学校が連携し平成21年～令和3年まで272本の桜を植樹          桜の種類：陽光桜、大山桜、関山桜など</p>	
自己評価	<input type="checkbox"/> 順調に達成した <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった	
	<p>「川を渡るぼんでん」の船着き場や「サケの稚魚放流」をした玉川は自分たちが住む花館地域であることを改めて知る機会となった。また、秋田県森の案内人との散策では、サクラの種類やカタクリの生態について学んだほか、クマがエサを探して歩く時間帯なども教えて頂き、普段の授業で学ぶことが出来ない、新たな発見を見つけた有意義な活動となった。</p>	
課題等	<p>児童を対象とした活動となったが、今後は親子参加型や地域に居住していない先生を対象にした活動を検討し、大人からも花館地域をより知って頂くことが必要と考える。</p>	
外部評価 有識者の意見・評価	<p>●地域に根差した公民館活動は、地味ではありますが、継続して実施すべきものとして評価できると考えております。今後とも事業実施に向けてご努力いただきたいと思います。</p> <p>◆地域の子どもを育てるために公民館の持つ力が最大限に生かされた事業として評価できます。今後も「川を渡るぼんでん」や「サケの稚魚放流」など、一連の「ふるさと学習」が結びついてより深い学びとなるよう、学校・家庭・地域連携推進事業のもと、学校側との目的や学習内容の共有、対象学年の選定、役割分担などを相談しながら事業を進めていただければと思いますし、また課題等に挙げている形の事業にも大いに魅力を感じます。</p>	

## 事務事業の点検・評価表

番号	7	分野	芸術文化	担当課	神岡中央公民館
----	---	----	------	-----	---------

事業名	かみおか地域文化祭																		
事業の目的	神岡地域の芸術文化団体や愛好者、小中学校、こども園などが一堂に会し、作品展示や舞台発表等を通して住民の交流と地域活性化を促進しながら、芸術文化の振興や関係団体の連携強化を図る。																		
事業の実施状況	事業費		251千円																
	1 開催期日 令和6年10月26日（土） 2 開催場所 かみおか嶽雄館・神岡農村環境改善センター・神岡体育館ほか 3 実施内容 ○作品展示・舞台発表（芸文協、公民館講座、各種サークル、小中学校、こども園） ○付帯イベント（あきた舞妓ステージ、スタンプラリー、フライングディスク体験、青空おはなし会、古本バザール、地元特産物販売、縁日ほか）																		
	【3か年の状況】 <table><tr><td></td><td>作品展示者</td><td>舞台発表者</td><td>来場者</td></tr><tr><td>○令和4年度</td><td>21団体 442人</td><td>15団体 144人</td><td>750人</td></tr><tr><td>○令和5年度</td><td>21団体 417人</td><td>15団体 161人</td><td>880人</td></tr><tr><td>○令和6年度</td><td>19団体 387人</td><td>16団体 149人</td><td>1,500人</td></tr></table>					作品展示者	舞台発表者	来場者	○令和4年度	21団体 442人	15団体 144人	750人	○令和5年度	21団体 417人	15団体 161人	880人	○令和6年度	19団体 387人	16団体 149人
	作品展示者	舞台発表者	来場者																
○令和4年度	21団体 442人	15団体 144人	750人																
○令和5年度	21団体 417人	15団体 161人	880人																
○令和6年度	19団体 387人	16団体 149人	1,500人																
自己評価	<div><div><input type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった</div><div><input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった</div></div>																		
	・地域文化祭は、芸文協会員や生涯学習講座受講者が日頃の学習成果を発表する場であり、発表者の生き生きとした姿が見られた。 ・小中学校や認定こども園の作品展示や舞台発表により、地域と学校、園との連携が強化されるとともに、高齢者と子ども達との交流が図られる絶好の機会となっている。 ・地域内の各種団体の作品展示や舞台発表などを通して、芸術文化団体の相互交流や芸術文化の振興が図られている。 ・神岡支所地域活性化推進室主催の「すくすくキッズフェス」と同日開催となり、例年より多くの来場者があった。地域文化祭でもスタンプラリー等の子ども向けイベントを実施し、幅広い年代から楽しんでもらうことができた。																		
課題等	職員数が減少してきており、マンパワー不足である。会場も広範囲にわたり当日の円滑な運営が難しくなっていることから、会場の集約や作品の展示方法を工夫するなど実施内容を見直し、より充実した文化祭としていく必要がある。																		

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>●地域文化祭は、芸文協会員や生涯学習講座受講者の発表の場であることから、とても有意義な事業であると考えております。参加人数や来場者数も多く、盛大に開催されたことは十分評価できる内容となっております。課題としてあったマンパワー不足については、市の機構改革なども関係してくると思われますので、当面は、事業が継続できるような工夫を考えながら、事業を実施していただきたいと思います。</p> <p>◆各所との調整、連携により来場者数を大きく伸ばしている点はすばらしいと思いますし、参加者の相互交流や芸術文化の振興が図れていることは大いに評価できます。今後ますます高齢化が進みますし、事業規模も大きくなると運営面が難しくなります。マンパワー不足も続くものと思いますので、学習成果の発表者にもこれまで以上に運営側の意識を強く持って参加協力いただくことが必要ではないでしょうか。ますますの地域活性化を期待しています。</p>
-----------------------------------	--

# 事務事業の点検・評価表

	番号	8	分野	芸術文化	担当課	大綱交流館
事業名	大綱米プロジェクト					
事業の目的	この事業は、西仙北地域の伝統行事「刈和野の大綱引き」を保存継承するために、地元の小中学生や高校生に稲作を通じた大綱製作に触れる機会を作ることにより、地域の伝統行事に関心を持ってもらい、将来の担い手を育成することを目的とする。					
事業の実施状況	事業費		151千円			
	<p>西仙北地域内小中学校の児童生徒、西仙北高校の生徒が、刈和野大綱ファーム、刈和野大綱引保存会の協力により5月に田植え、9月に稲刈り・はさ掛け作業を実施した。刈り取った稲わらは、刈和野大綱引保存会で、2月10日に開催される「刈和野の大綱引き」の綱製作に使用し、収穫した米は各学校へ配り、学校の授業等で活用した。</p> <p>・田植え作業 期 日：令和6年5月21日（火） 場 所：北野目字三条川原 参加者：西仙北小学校5年生 32人、西仙北中学校3年生 37人、 西仙北高校全校生徒 34人、 西仙あおぞらこども園 25人、みつば保育園 12人、 協 力：刈和野大綱ファーム、刈和野大綱引保存会、地域住民 20人</p> <p>・稲刈り・はさがけ作業 期 日：令和6年9月19日（木） 場 所：北野目字三条川原 参加者：西仙北小学校5年生 33人、西仙北中学校3年生 38人、 西仙北高校全校生徒 28人、 西仙あおぞらこども園 25人、みつば保育園 11人 協 力：刈和野大綱ファーム、刈和野大綱引保存会、地域住民 30人</p> <p>※参考（参加児童生徒数） 【令和4年度】田植え、西小 41人、西中 54人、西高 62人 稲刈り、西小（コロナにより不参加）、西中 50人、西高 47人 【令和5年度】田植え、西小 43人、西中 46人、西高 54人 稲刈り、西小 39人、西中 41人、西高 41人</p>					
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった					
	<p>大綱の原材料となる稲わらを確保するため、刈和野大綱ファーム・刈和野大綱引保存会の協力指導の下、小中学生及び高校生が田植えや稲刈り・はさがけ作業を経験することで、「刈和野の大綱引き」への関心を高めることができた。</p> <p>令和6年度から小中高の児童生徒と一緒に協力して作業できるように縦割り班編成で実施している。</p>					
課題等	西仙北高校の生徒に指導者的立場で参加していただいているが、生徒数が年々大幅に減少している。					

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>●本事業は、地域の伝統行事である大綱引きに使用する稲わらを、地域の小中学生や高校生が農業法人や大綱引き保存会の人達と一緒に、春の田植えから秋の収穫まで一貫して行うという事業ですが、参加人数も多く、また保育園の幼児も含めて参加することから、大いに評価すべき内容だと思います。事業の目的には、伝統行事への関心を高めることとありますが、事業の中身としましては、農作業の体験学習的な面もありますので、今後も継続されますことを期待したいと思います。課題として挙げられた、生徒数の減少につきましては全体的な傾向ですので、参加者の体制を見直すなどの対策が図られますようお願いしております。</p> <p>◆本事業は西仙北地域特有のものであり、伝統行事の保存継承を主目的としながら、地域の子どもたちが学習する素材として稲作をダイナミックに組み込んだ貴重な事業であると思います。何より小中高の児童生徒が縦割り班編成で実施していることに加え、園児にも体験させていること、事業協力者として多くの大人も関わり地域一体となって活動している点は大きく評価するものです。西仙北高校の生徒増は今後もあまり期待できない部分と思いますので、代わる手立てを検討しながら事業を継続発展させていただきたいと思います。</p>
-----------------------------------	--

# 事務事業の点検・評価表

	番号	9	分野	生涯学習	担当課	中仙公民館
事業名	ドンパル講座					
事業の目的	地域住民の1人ひとりが生涯学習に取り組むきっかけづくりの場を設けるとともに、心の豊かさや生活の向上を資する事を目的に開催する。					
事業の実施状況	事業費		10千円			
	<p>【ドンパル健幸講座】</p> <p>ヨガ講座（イスを使ったヨガ）  講師：インストラクター 児玉 美由紀 氏  日時：1回目 令和6年7月20日（土）午前10時～午前11時  2回目 令和6年7月27日（土）午前10時～午前11時  場所：中仙市民会館 研修室C  参加者：延べ 36人</p> <p>ドンパル講座  令和3年度 ①健幸講座 31人 ②吊るし飾り講座 10人  令和4年度 ①ヨガ講座 42人 ②ディンプルアート講座 21人  令和5年度 ①ヨガ講座 49人 ②布あそび講座 18人</p>					
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった					
	<p>・例年ドンパル講座は、2つの講座を開催していたが、令和6年度は、施設の空調改修工事があり1つの講座のみの開催であった。参加者からアンケートを取り、次年度の講座の参考にしている。参加者からは、「身体が軽くなりリフレッシュできた」「普段動かさない個所を意識的に動かして良かった」などの意見をいただいた。今後も、参加者が満足のいく講座であることと、様々な生涯学習体験に触れてもらうきっかけとなるような講座を開催したいと考えている。心身共にリフレッシュできる講座・男性の参加しやすい講座等様々な企画を検討し、PRしながら市民の心の豊かさや生活の向上に繋げていきたい。</p>					
課題等	若い世代や男性の参加者が少ないため、若い世代の興味のある講座を取り入れたり、参加しやすい曜日等も検討する必要があると思われる。					
外部評価	<p>●地区公民館として各種講座を開催されたことは、評価できる内容であると思います。今後とも開催に向けてご努力いただきたいと思います。さらには、他事業や地域を越えて合同で開催するなど、新たな開催方法も検討していただきたいと思います。</p>					
有識者の意見・評価	<p>◆ヨガ講座は心身ともにリフレッシュできる健幸講座として、参加者の満足度が高く継続されているとのことで事業目的の達成度の高さがうかがえます。今後は課題としている若い世代や男性にも興味をもってもらえる講座を目指し、内容、期日、回数などの検討を重ねていただけるよう期待しています。</p>					

## 事務事業の点検・評価表

	番号	10	分野	芸術文化	担当課	協和公民館
<b>事業名</b>	芸術文化振興事業「ちいきみんなのきょうわ祭」					
<b>事業の目的</b>	協和地域の産業・芸術文化の振興と発展を図り、互いの学びを通してつながりを深め、生きがいのある楽しい地域社会を築くために皆が意識を共有し、地域の活性化をめざすことを目的とする。					
<b>事業の実施状況</b>	事業費		45千円			
<b>事業の実施状況</b>	<p>毎年、テーマを設けて実施しているが、令和6年度は、初の試みとして「ちいきみんなのきょうわ祭」を企画・提案し、地域学校協働活動本部・学校運営協議会・地域協議会で開催を検討し、協和地域祭・協和小学校祭(学習発表会)・協和中学校祭を合同で開催して、学校・地域住民・企業・商店が一体となり地域の魅力を再発信し、全ての方々に楽しんでいただけるイベント内容を企画した。</p> <p>令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程：令和6年10月12日(土)・13日(日)</li> <li>・会 場：協和市民センター「和ピア」</li> <li>・内 容：</li> </ul> <p>芸文協加盟団体・児童生徒・一般・婦人団体・福祉施設 等による作品展示や芸能発表、パッチワーク・絵手紙等の体験講座や地元商店・農業者団体による販売、NPO法人障害者施設による出店、ワークショップ・フリーマーケット、地域協議会彩色千輪プロジェクト実行委員「アクセサリー教室」「テープ編み教室」、協和小学校祭「学習発表会」「吹奏楽」、協和中学校祭「吹奏楽」「演劇」「縁日」「貢献ジャー」、そして「動物ふれあいコーナー」や「働く車の展示」「キッチンカー」等新たな企画を加えた。</p> <p>また、大仙市20周年記念事業「サイエンス講座」(地域活性化予算 860千円)、大仙市国際フェスティバルも同時に開催した。</p> <p style="text-align: center;">【来場者数 令和4年度 約1,000人、令和5年度 約1,000人、令和6年度 約2,000人】</p>					
<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した  <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった         </div> <div> <input type="checkbox"/> おおむね達成した  <input type="checkbox"/> 達成できなかった         </div> </div> <p>小中学校児童・生徒のアンケート結果を見ると多くの観客の前で発表し、意欲や自信を高められ地域の方の様子を伺う良い機会となったという内容が多く見られた。また、保護者や小中学校教諭のアンケートでも、子どもたちの学習成果や堂々と発表している様子を見て、地域との一体感を感じられ、最初は不安が多く有ったが、活動に寄り添い子どもたちの生き生きした活動を見て、今後も継続して欲しいとの意見を頂き、職員も順調に達成できたと感じている。</p>					
<b>課題等</b>	<p>二日間の日程で開催されるイベントであるが、近年は二日目の来場者が極端に減少していたが、令和6年度は以前の活気が満ち溢れたきょうわ祭となった。</p> <p>今後は急激な児童生徒の減少と高齢化が進む中で、地域の起爆剤として地域を活性化するための地域祭を目指し、地域のつながりや支え合いを大切に特色ある事業にして行かなければならないと感じている。</p>					

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>●協和地域の芸術文化祭は、小中学校の学習発表会や学校祭と合同で開催するなど、その開催規模も大きく、さらには大仙市20周年記念事業も同時に開催されるなど、多くの方に参加いただけたことで、参加者数も前年度の倍の人数となっており、とても評価できる内容であると思います。課題としてあった児童生徒の減少や高齢化については、他事業と共通の課題でもありますので、解決に向けてご努力いただきたいと思います。</p> <p>◆新たな試みとして個々の行事や事業を集約するには相当の準備が必要であり、各担当が努力された結果の成功であると評価します。また、学校と地域がパートナーとして連携・協働し、地域の教育力を高める「学校・家庭・地域連携推進事業」の効果的な実践事例として貴重なものであると思います。今後も児童生徒の減少や高齢化など地域の課題を克服し「ちいきみんなのきょうわ祭」が盛大に開催されることを楽しみにしています。</p>
-----------------------------------	---



# 事務事業の点検・評価表

	番号	11	分野	生涯学習	担当課	南外公民館
事業名	南外地域健康教室					
事業の目的	この事業は、様々な知識の習得及び交流を通して、市民の健康増進とスポーツ活動の向上を図ることを目的とする。					
事業の実施状況	事業費		5千円			
	<p>南外地域の高齢者の学習の場として始めた「高齢者学級勉強会」事業だったが、対象者を高齢者にこだわらず多くの市民が参加出来るようにすることと、健康に関する講話や体操教室の要望が多いことから、令和5年度に「南外地域健康教室」と名称を変え事業を継続している。その時々に応じた情報の提供や知識を習得するための講座を行っている。講座は日頃の運動不足解消のため、「ボッチャ」のスポーツ体験と「3B体操」を実施した。</p> <p>【実施日】 令和6年11月26日  【実施場所】 南外コミュニティセンター  【講師】 ・スポーツ体験 「ボッチャ」  ・3B体操  講師 渡部 先生、富樫 先生  【申込者数】 令和4年度 25名  令和5年度 26名  令和6年度 29名</p>					
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった					
	<p>コロナ禍からの影響もあり体を動かしたいといった要望が多く、スポーツに特化した講座となった。「ボッチャ」では、単純に投げるだけではなく考えながら投げる場面もあり、脳の活性化となり、「3B体操」では、楽しそうに体を動かし汗を流すことで運動不足の解消となり、心身ともにリフレッシュが出来たと好評だった。対象者を「高齢者」から「地域全体」と変えることにより、高齢者向けと感じ参加に抵抗のある地域住民にも地域活動に加わるきっかけづくりとなり、地域住民の交流の場を提供することで地域の繋がりに役立っている。</p>					
課題等	<p>対象者を地域全体に変え申込者は微増したが、更に増加するようチラシの配布に加え地域で活動しているサークル団体などに声掛けをする等広く周知したい。幅広い年齢層が参加できるようニーズに合ったものを提供していきたい。</p>					
外部評価	<p>●他の事業でも申し上げましたが、地区公民館として健康講座を開催されたことは、評価できる内容であると思います。今後とも開催に向けてご努力いただきたいと思います。さらには、他事業や地域を越えて合同で開催するなど、新たな開催方法も検討していただきたいと思います。</p> <p>◆市民の要望を取り入れながら既存事業を修正することにより、低予算かつ当初の目的達成に加えて地域住民の交流の場となるなど、満足度の高い事業となった点で評価できます。特に対象を高齢者に限定せず多くの市民が参加できるようにしたことで、地域活動参加へのきっかけづくりとなりました。健康増進と世代間交流の場を提供することは、高齢化率の高い地域だからこそ必要と思われるので、さらに幅広い年齢層が多数参加できるよう工夫していただければと思います。</p>					

# 事務事業の点検・評価表

	番号	12	分野	芸術文化	担当課	仙北公民館
事業名	史跡の里の秋まつり					
事業の目的	仙北公民館を中心に活動する芸文協加盟団体や地域活動団体に発表や活動の場を提供するとともに、高齢者施設や一般参加者の作品展示、児童、生徒の学習成果を披露することで、地域住民の交流、地域活性化を図ることを目的とする。					
事業の実施状況	事業費		466千円			
	<p>大仙市誕生20周年と仙北ふれあい文化センター開館30周年を冠に、周年を祝うとともに、これまでの歩みに感謝し、実施した。</p> <p>■開催日：10月19日（土）20日（日）※19日は作品展示のみ</p> <p>■場 所：仙北ふれあい文化センター</p> <p>■内 容：【公演】横堀小器楽部・仙北中吹奏楽部による演奏、芸文協加盟団体による芸能発表、20周年特別ステージほか          【作品展示】芸文協加盟団体による作品、協働活動で学んだ学習の成果、公民館活動作品・写真等          【その他】チェンソーアート（20周年企画）、はたらく車展示・体験、わくわくマーケット、キッズ縁日ほか</p> <p>■来場者4,000人（R5:1,900人、R4:710人、R3：中止）</p>					
自己評価	<div> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した           <input type="checkbox"/> おおむね達成した         </div> <div> <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった           <input type="checkbox"/> 達成できなかった         </div>					
	<p>○芸文協会員（団体）が練習会場として使用しているふれあい文化センターが、開館30周年を迎えたということで『久しぶりに発表してみようか。』と、出演するきっかけ作りが出来た。加えて、周年記念として団体同士でコラボをしてくれたところもあった。</p> <p>○市誕生20周年記念事業ということから予算の確保も出来『NHKのど自慢チャンピオン大会2024』で“優秀賞”を受賞した、仙北地域在住の方の特別ステージも実現できた。</p> <p>○消防や地元企業の協力を得て『はたらく車』の展示、わくわくマーケット、チェンソーアート、キッズ縁日など多様な催し物が出来た。</p> <p>○たくさんの方からの来場をもって、20周年と30周年に華を添えていただいたと感じた。「楽しかった。やっぱり地元のまつりがいいな～」などの声が届き、喜んでいただけたことを実感できた。</p>					
課題等	<p>当日よりも、準備や片付けにマンパワーを要する。運営協力委員や生涯学習奨励員からも協力をいただいているが、高齢化傾向にある。みのりフェアと被ってしまうこともあり、支所職員も薄くなるが、地域のイベントとして捉えていただき、協力要請を検討していく。併せて、出演・出展者（団体）からの協力要請も検討材料としていく。</p>					

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>●本事業は地域芸術文化祭ですが、とても盛大に開催されて大変有意義な事業であると思います。さらには、大仙市20周年記念事業や、文化センター開館30周年記念事業と併せての開催ということで、来場者も多く、本事業が大成功だったという思いが伝わってくるご説明を受けましたので、今後とも事業実施に向けてご努力いただきたいと思います。課題にあるマンパワー不足や日程調整についても、解決に向けてご検討くださるようお願いいたします。</p> <p>◆普段から公民館としての役割を果たし、地域の方々と良好な関係を築いていることで、2つの大きな節目を祝う気持ちをもって各種団体の方々から協力が得られ、盛大に秋まつりを開催できたものと思います。課題等に挙げられているマンパワー確保について、検討材料としている2点は有効なものと思います。他地域でも同様の課題がありますので、先駆けとして参加団体に対する事業への協力要請が受け入れられるよう祈念します。</p>
-----------------------------------	---

## 事務事業の点検・評価表

	番号	13	分野	芸術文化	担当課	太田公民館
<b>事業名</b>	第26回民謡「秋田おはら節」全国大会					
<b>事業の目的</b>	秋田県の代表的な民謡であり、第一級の名調子として知られ、哀調を帯びた独特の節回しの「秋田おはら節」を地域の唄として正しく継承・普及するとともに、全国大会を開催し地域文化の振興と活性化を図る。					
<b>事業の実施状況</b>	事業費		744千円			
	<p>昭和62年にNNS日本民謡大賞で高橋節子さん（太田地域在住）が、「秋田おはら節」を唄い優勝したことを契機に、この唄を地域の唄として正しく継承し普及することを目指し平成8年から開催している。</p> <p>①開催時期 令和6年9月7日（土）</p> <p>②開催場所 太田文化プラザ</p> <p>③開催部門 大賞の部、熟年の部（70歳以上）、少年少女の部（中学生以下）</p> <p>④企画運営 秋田おはら節全国大会実行委員会（事務局：太田公民館）</p>					
		大賞の部 （高校生以上）	熟年の部 （70歳以上）	少年少女の部 （中学生以下）	出場者数計	
	令和4年度	中止				
	令和5年度	25	38	3	66	
	令和6年度	29	28	6	63	
<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/> 順調に達成した  <input checked="" type="checkbox"/> 達成したが課題があった         </div> <div> <input type="checkbox"/> おおむね達成した  <input type="checkbox"/> 達成できなかった         </div> </div> <p>・「秋田おはら節」は難易度が高いが、一方で根強いファンも多く、県外からの出場者も多い（令和6年度の最遠方エントリーは兵庫県）。全体の出場者数は横ばいの状況である。</p> <p>・過去の優勝者の中には、他の全国大会で優勝するなど活躍している方もおり、民謡の伝承と普及に貢献している。</p> <p>・大会運営は、民謡同好会、商工会、婦人会、老人クラブ、農協関係者の方々の協力で行っており、大会当日は、地元の農産加工品等の販売を行うなど、地域の活性化を図ることができた。</p> <p>・大会参加者が減少傾向にあるため、平成29年度から「秋田おはら節」の正しい普及と少年少女など次世代の愛好者を育む取り組みとして、民謡「秋田おはら節」講習会を夏頃に開催し、更なる継承活動を実施している。</p>					
<b>課題等</b>	<p>・かつては100名近く出場していたのに比べると参加者の減少が目立つ。</p> <p>・大会を運営している民謡同好会や婦人会なども高齢化等により参加者が減ったため、今後の運営方法の検討が必要である。</p>					

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>●県外からの参加者も多く、また全体で60名以上の参加者があった大きな大会であり、民謡の伝承と普及に大いに寄与される大会であると評価しております。今後とも大会の開催に向けてご努力いただきたいと思います。課題としてある参加者の減少や団体の高齢化については、他事業でも共通の課題であり、解決に向けてさらにご検討いただきたいと思います。</p> <p>◆これまで長年にわたって「全国大会」を冠した事業を展開し、所期の目的を達成してこられたご努力に敬意を表したいと思います。この事業がなければ時代の流れで廃れてしまっていたのではとも思いますし、地域で運営を支えてこられた方々には満足感や自己有用感が醸成されたものと評価します。今後については高齢化等による参加者の減少という難しい課題もあるようですが、地域文化の振興と活性化のためにもご努力いただければと思います。</p>
-----------------------------------	---

# 事務事業の点検・評価表

	番号	14	分野	生涯学習	担当課	総合図書館																		
事業名	ブックスタート																							
事業の目的	<p>「ブックスタート」は赤ちゃんとその保護者を対象に、親子で楽しくあたたかいひとときが持たれることを願い、大仙市では平成22年度から実施している事業である。令和7年度からスタートした「第4次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」の「基本目標1 家庭での本との出会いづくり」の継続していく取組の1つである。</p>																							
事業の実施状況	事業費		548千円																					
	<p>健康増進センターで行われている4か月児健診の会場へ、図書館職員とボランティアの方が出向き、乳児とその保護者を対象に「よみきかせ」を行い、絵本2冊と市立図書館の利用案内と利用カード申請書の入ったブックスタートパックをお渡ししている。コロナウイルス感染拡大の期間（R2～3年度）は、「よみきかせ」を中止していたが、令和4年6月12日の健診時から希望者に「よみきかせ」を再開し、5類移行後は徐々に希望者も増え、「絵本のよみきかせ」体験と絵本をセットでプレゼントする、本来の事業の状況に戻ってきている。</p>																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>対象者数</th><th>当該年度配付数</th><th>よみきかせ参加者数</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td><td>367</td><td>367</td><td>72</td><td>R4.6.12から「よみきかせ」再開</td></tr> <tr> <td>R5年度</td><td>305</td><td>305</td><td>100</td><td></td></tr> <tr> <td>R6年度</td><td>265</td><td>265</td><td>243</td><td></td></tr> </tbody> </table>					年 度	対象者数	当該年度配付数	よみきかせ参加者数	備 考	R4年度	367	367	72	R4.6.12から「よみきかせ」再開	R5年度	305	305	100		R6年度	265	265	243
年 度	対象者数	当該年度配付数	よみきかせ参加者数	備 考																				
R4年度	367	367	72	R4.6.12から「よみきかせ」再開																				
R5年度	305	305	100																					
R6年度	265	265	243																					
自己評価	<div> <input type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった </div>																							
	<p>「ブックスタート」は、親子で初めて絵本にふれあう大切なきっかけづくりとなっている。同封している「図書館利用カード申込書」や「ご利用のしおり」を目にした事をきっかけに、その後の家庭での読みきかせや、図書館利用などへも繋がっている。絵本も購入となると家庭への負担も大きいため、ブックスタートで配付した布バック持参で図書館を訪れる方も見受けられる。</p> <p>少子化のため、事業の対象者も減少傾向にあるが、子どもたちの未来へ目を向け、「読書推進」という観点からだけではなく、「子育て支援」という双方の観点からも継続していくべき事業であると考えている。</p> <p>※「ブックスタート」は県内25市町村のうち17市町村で、絵本の贈呈のみ実施している市町村が3市町村と、多くの自治体で実施されている。</p>																							
課題等	<p>事業で行っている、読みきかせは、ボランティアの方々の御協力により行っているが、会員の高齢化などに伴い、活動を辞退する方もいる。安定した事業継続のため、保育士経験者などへの声かけや図書館の会計年度任用職員も「読みきかせ」を担当できるように準備しておく必要がある。</p> <p>また、アンケートでは小学校入学時などに、フォローアップとして「セカンドブックスタート」とも言われている年齢相応の絵本プレゼントを希望する声もあるが、NPOブックスタートから「ブックスタート」のように特別な価格での絵本提供を受けることが出来ないため、要望には、なかなかお応えできない状況にある。</p>																							

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>●本事業については、乳児健診の合間を使って新生児に絵本の読み聞かせをする事業なのか、絵本を贈呈することを目的とする事業なのか、そのどちらも実施するのか評価表にはっきり記載していただきたかったと思います。希望者も増えているという説明もありましたが、課題には「セカンドブックスタート」という言葉も散見され、事業名と内容がずれていないか精査をお願いしたいと思います。</p> <p>◆対象者の90%以上の参加を得ており、その後の図書館利用や家庭での読み聞かせにつながっている点で親子の本と出会うきっかけづくりができていると思います。自己評価に挙げられているとおり、「読書推進」はもとより「子育て支援」として、さらには親への啓蒙活動としても大切な事業であると思います。人員や予算の確保等課題が大きいとは思いますが、安定した事業継続を期待しています。</p>
-----------------------------------	---

番号	15	分野	芸術文化	担当課	総合市民会館
----	----	----	------	-----	--------

事業名	大仙市音楽祭2024				
事業の目的	「音楽のまち大仙」として、市民により身近なものとするため、「まちづくり」「ひとづくり」「きずなづくり」をコンセプトとした市民参加型音楽祭を開催して、音楽に触れ合うことのできる機会を提供する。				
事業の実施状況	事業費		4, 0 7 2 千円		
	開催日：令和6年11月9日(土)、10日(日)、12月1日(日) 主会場：大曲市民会館 大ホール、小ホール				
	令和6年度				
	NO	日付	会場	公演名	入場者数
	1	11/9	中央公民館	企画公演 みんなでつくる音楽会	137
	2	11/9	大曲市民会館	横濱音泉倶楽部 大人のコンサート	299
	3	11/10	大曲市民会館	横濱音泉倶楽部 0歳からのコンサート	325
	4	12/1	大曲市民会館	大いなる秋田 大演奏会	936
	合 計				1,697
自己評価	<input type="checkbox"/> 順調に達成した <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった				
	昨年度に続き6回目の開催となった令和6年度は、「みんなでつくる・みんなで楽しむ・みんなの音楽祭」をテーマに、音楽を通して人があふれるまちづくりをめざすことを目標とした。 令和6年度は、大仙市誕生20周年記念事業として、令和5年度に引き続き、ビッグバンド「横濱音泉倶楽部」を招き、スペシャルゲストとしてサックス奏者のオリタノボッタ氏を迎え『大人のジャズコンサート』や『0歳からのジャズコンサート』を開催し、幅広い年齢層に本格的なジャズコンサートを実施した。また、企画公演として公募及び大会の入賞者による音楽会を開催し、より多くの市民が楽しめる音楽祭となった。また、12月には昨年に引き続き「大いなる秋田 大演奏会」を開催し、多くの市民の参加をいただき、「大仙市音楽祭2024」のフィナーレを飾った。				
課題等	音楽祭実行委員会で企画内容を検討し、公演内容に応じて、実行委員及びボランティアスタッフと連携を図りながら運営する。今後も市民のニーズを取り入れながら、入場者数の増加を図っていく必要がある。				



<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>●本事業は昨年度に引き続き評価対象事業になっており、評価内容についても昨年度と同様になってしまいますが、「音楽のまち大仙」として音楽祭を開催し、市民に音楽に触れる機会を提供することは意義のある事業であると思います。市民により身近な参加型の事業であることも評価できる内容となっています。今後も市民のニーズを取り入れながら魅力ある企画と一体となり、音楽祭がより盛大に開催されることを期待しております。</p> <p>◆「音楽のまち大仙」にふさわしく工夫された公演内容で市民参加型の音楽祭を開催し、多くの入場者を確保しています。今回は大仙市誕生20周年記念事業として幅広い年代層を対象に本格的なジャズコンサートを開催していることも魅力ある企画だったと思います。今後も、様々なジャンル、企画で音楽に触れあう機会を提供していただければと楽しみにしております。</p>
-----------------------------------	---

## 外部評価委員の総評

■ 中 村 隆 一 （学識経験者・元自治体職員 教育行政事務経験者）

今回評価の対象となった事業は、各地域の公民館が実施した芸術文化祭活動や、各種講座を開催した事業が多くありました。昨年度も同様ですが、各地域とも特色ある活動があり、参加人数も多いことから順調に達成できたと評価できる内容でありました。また、その他の事業につきましても、同様に評価できる事業が多くありましたが、一部に検討課題を申し上げた事業もありましたので、引き続き事業実施に向けてご努力いただきたいと思います。

さて、この事業評価制度につきましては長年実施されてきたところですが、その評価方法について見直しを検討すべきではないかと思っております。例えば、評価対象事業の件数については、各課、各地区公民館、図書館、市民会館から1つ又は2つの事業を対象としておりますが、事業数が多く、もっと対象を絞り込むことを考えてもよいのではないかと思います。さらに申し上げれば、この外部評価制度そのものについて、評価方法の変更も含めご検討いただきたいと思います。

大仙市が誕生してから20年が経過いたしました。これまでの20年は、旧市町村単位に予算や事業を実施してきた20年だったと思います。では、これからの20年はどのようなになるのでしょうか。予算や事業は、大きく変わってくると予想されます。その変化に併せて事業評価制度も見直しが図られることを期待したいと思います。さらには、昨年度から「第二次大仙市学校規模適正化推進計画（素案）」が検討されているようですので、その推移も見守って参りたいと思います。

■ 相 澤 文 彦 （学識経験者・元小学校長）

令和6年度「教育委員会の活動に関する事務」の記録や各種事業について説明をいただき、各分野とも教育目標のもと、事業目的に基づいて継続かつ一貫性のある、そして地域課題に対応すべく事業を展開していると感じました。

各館においては、その地域の歴史や文化・人材・産業など地域の資源を的確に把握し、少子高齢化・過疎化・住民意識の希薄化などの地域の課題を住民自ら解決していけるような機会や場を提供し、地域の皆さんの様々な学習活動をつなげ、地域づくり活動の拠点施設となっていました。学校・家庭・地域連携推進事業が機能し成果を上げた協和公民館の

事例もありました。大きな会場、大勢の前での発表体験は、子どもたちにとっても大きな財産になったものと思います。花館公民館では花館地域の理解を深めてもらうため、児童対象の事業を親子や大人に対象を広げてみることも検討しておりました。

体験活動の意義、重要性については言うまでもありませんが、近年特に子どもたちの経験不足、体験格差が大きいと感じることが多々ありました。私自身、社会教育施設勤務時代には、家庭や学校では不十分な体験活動の提供について、ぜひとも社会教育で補っていかなければと考え、事業を実施してきたことも思い出されました。

今後とも公民館の「つどう」「まなぶ」「つなげる」の役割を果たす地域拠点として活躍されることを期待しております。